

音楽はマジックを呼ぶ

Fishmans

映画：フィッシュマンズ

佐藤伸治 茂木欣一 小嶋謙介 柏原譲 HAKASE-SUN

HONZI 関口"dARTs"道生 木暮晋也 小宮山聖 ZAK

原田郁子 ハナレグミ UA YO-KING 川崎大助 西川一三 川村ケンスケ こだま和文

監督：手嶋悠貴 制作：SETAGAYA FISHERIES COOPERATIVE

配給：ACTV JAPAN / イハフィルムズ

2021 JAPAN COLOR 16:9 5.1ch 172min ©2021 THE FISHMANS MOVIE

30
YEARS
FISHMANS

90年代を駆け抜けたバンド、フィッシュマンズ。
172分。心ふるわす音楽が今、鳴りひびく。



90年代の東京に、ただ純粋に音楽を追い求めた青年たちがいた。彼らの名前は、フィッシュマンズ。プライベートスタジオで制作された世田谷三部作、ライブ盤「98.12.28 男達の別れ」をはじめ、その作品は今も国内外で高く評価されている。だが、その道のりは平坦ではなかった。セールスの不調。レコード会社移籍。相次ぐメンバー脱退。そして99年、ボーカル・佐藤伸治の突然の死……。

バンドに残ったドラムの茂木欣一は、佐藤の楽曲を鳴らし続ける道を選ぶ。その想いに仲間たちが共鳴し、再始動。2019年、彼らは特別な覚悟を持ってステージへと向かう——。

過去の映像と現在のライブ映像、佐藤が遺した言葉とメンバー・関係者の証言をつなぎ、デビュー30周年を迎えたフィッシュマンズの軌跡をたどる。

1987 フィッシュマンズ結成
1991 シングル「ひこうき」で
ヴァージン・ジャパンよりメジャーデビュー
1stアルバム『Chappie Don't Cry』
ミニアルバム『Corduroy's Mood』
1992 2ndアルバム『KING MASTER GEORGE』
1993 3rdアルバム『Neo Yankees' Holiday』
ギター・小嶋謙介が脱退
1994 4thアルバム『Orange』

1995 ライブ・アルバム『Oh! Mountain』
ポリドールへ移籍
プライベートスタジオ完成
キーボード・ハカセが脱退
1996 5thアルバム『空中キャンプ』
6thアルバム『LONG SEASON』
7thアルバム『宇宙 日本 世田谷』
1997 ライブ・アルバム『8月の現状』
1998 ベース・柏原譲が脱退

1999 ボーカル・佐藤伸治、急逝
ライブ・アルバム『98.12.28 男達の別れ』

ドラム・茂木欣一の呼びかけで2005年再始動
ゲストボーカルに原田郁子、ハナレグミ、UA راを迎え、
佐藤伸治の楽曲をアップデートしつづけている
サブスク解禁を機に海外での評価も高まり、
現在進行形のバンドとして注目されている

映画：フィッシュマンズ 出演：佐藤伸治 茂木欣一 小嶋謙介 柏原譲 HAKASE-SUN HONZI 関口「dARTs」道生 木暮晋也 小宮山聖 ZAK
原田郁子 ハナレグミ UA YO-KING 川崎大助 西川一三 川村ケンスケ こだま和文 監督：手嶋悠貴

企画・製作：坂井利帆 プロデューサー：豊野純 近藤信幸 協力プロデューサー：佐野敏也 撮影監督：山本大輔 撮影：長瀬拓 録音・監音：黄永昌 録音：芥菜樹 藤口諒太 構成：和田清人 編集：大川素子 アートディレクター：大村謙平
音楽：フィッシュマンズ 音楽監音：ZAK 制作：Setagaya Fisheries Cooperative 配給：ACTV JAPAN イファイルムズ 宣伝：こしえ 2021 JAPAN COLOR 16:9 5.1ch 172min ©2021 THE FISHMANS MOVIE

2022. 1/2(日)～1/16(日) 休映日：1/4(火)、10(月)、11(火)
上映時間：13:30 (1日1回のみ) 料金：均一料金2,500円

※全席指定 ※各回定員入替制 立ち見不可 ※事前予約不可 ※ご鑑賞当日午前10:00より、その日の上映回について受付を開始いたします。

東京都写真美術館ホール
恵比寿ガーデンプレイス内
TEL: 03(3280)0099 www.topmuseum.jp 〒153-0062 東京都目黒区・田1-13-3
JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

Fishmans

fishmans-movie.com

